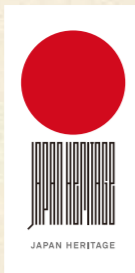


日本遺産



# 薩摩の武士が生きた町 ～ 武家屋敷群「麓」を歩く～

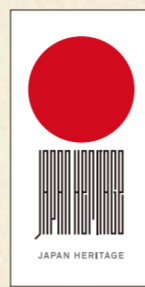


日本遺産

# 薩摩の武士が生きた町 ～ 武家屋敷群「麓」を歩く～

「日本遺産」とは

各地域の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定し、ストーリーを語る上で欠かせない、魅力ある有形・無形の様々な文化財を総合的に活用し、情報発信を行うことなどにより、地域活性化を図ろうとするものです。



【日本遺産】  
薩摩の武士が生きた町  
～ 武家屋敷群「麓」を歩く～  
を構成する武家屋敷群「麓」

構成自治体(県・9市)

鹿児島県、鹿児島市、出水市、垂水市、薩摩川内市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、南九州市、始良市

## 【ストーリーの概要】

勇猛果敢な薩摩武士を育んだ地、鹿児島。江戸時代、薩摩藩は、外敵からの攻撃に備え、本城である鹿児島城を中心とし、県内各地に外城(とじょう)を配置し、武士団を住まわせていました。これは外城制度(とじょうせいど)と呼ばれ、薩摩藩独自の体制でした。現在、鹿児島市の鹿児島城跡を中心に、外城の中心地である麓(ふもと)と呼ばれる武家屋敷群が、県内各地に数多く残されています。麓は、防御に適した場所に作られ、門と玄関の間に生垣を配置する等、まるで城のような構造を持っていました。そこでは武士達が心身を鍛え、農耕に従事し、平和な世にありながら武芸の鍛錬に励みました。本城の鹿児島城跡や外城の武家屋敷群を歩けば、薩摩の武士達の往時の生き様が見えてきます。



麓の典型的な構成

麓を楽しむための目安 歴史に詳しい方も、歴史初心者でもお楽しみいただけるよう以下の目安を設けています。

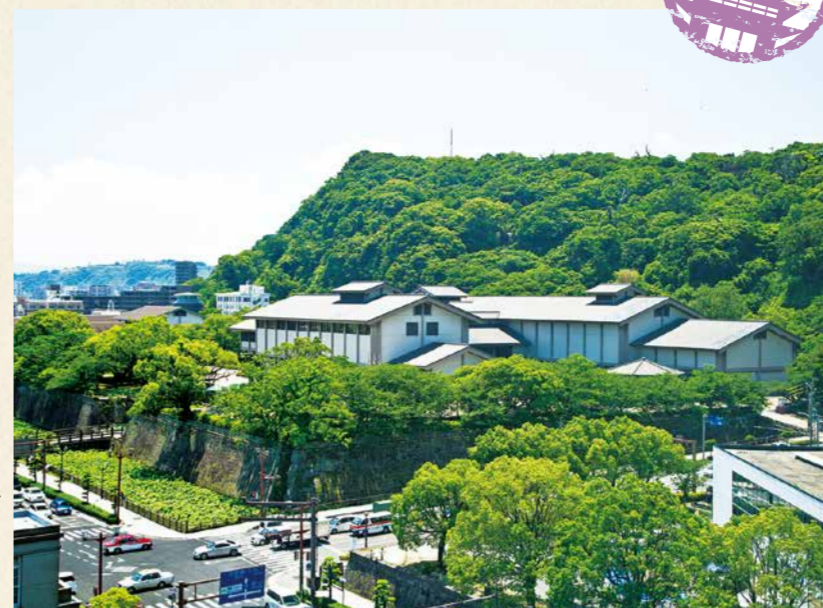
- 往時の様子、案内板、現地ガイド、食の要素が揃い、歴史初心者でも安心して楽しめます。
往時の様子、案内板、現地ガイド、食の要素が揃い、少しの知識と想像力があれば十分楽しめます。
事前の情報収集で予備知識を蓄えての訪問がオススメ。麓の旅がより一層味わい深いものとなります。
城にまつわる人物など、入念な事前学習を。当時の麓の面影があなたの豊かな想像力で蘇ります。

鹿児島市

## 鹿児島藩外城制度の要



# 鹿児島城跡



- 黎明館 利用者は無料
黎明館内
黎明館



鹿児島の外城制度の本城、鹿児島城。薩摩藩主・島津氏は鹿児島城を中心として、藩内113の外城を設け、島津一門家や重臣の領地である「私領」や、島津宗家直轄の「地頭所」を配置し、独自の防衛体制を築きました。立派な石垣と堀に囲まれた本丸跡にある黎明館では、麓の発祥の元となる中世山城や、典型的な麓集落のジオラマや解説があり、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」を巡るスタート地点として最適です。 ※通称は鶴丸城。



まずはココへ 鹿児島市城山町7-2 9:00~18:00(入館は17:30まで) 小・中学生:150円 一般:400円 鹿児島資料センター黎明館 099-222-5100 月曜日・毎月25日・12/31~1/2 高校・大学生:250円

鹿児島市

## 麓の原風景を巡る



# 喜入旧麓



- ふれあい広場 無料
ふれあい広場
喜入公民館



江戸時代が始まって間もない1650年代、突然の麓の移転で時が止まってしまった「旧」麓。しかし、幕末までの約250年もの間に刻々とその姿を変えていった他の麓に対し、喜入旧麓では1650年代当時の貴重な麓の原風景を味わうことが出来ます。中世山城跡の裾の曲がりくねった街道沿いに作られた石垣、そこに流れる水路、そしてその先に広がる田園風景が、あなたを約400年前の空間に誘います。



まずはココへ 鹿児島市喜入町7000 099-345-3751 8:30~22:00 12/29~1/3 喜入公民館

出水市

## 国境に築かれた最大級の防衛拠点



# 出水麓



- 無料
出水麓 歴史館内
出水麓 歴史館



出水は肥後藩との境にあり、藩の防衛上、特に重要な拠点の一つでした。江戸時代になると、出水城から続く起伏の多い丘陵地を平らに整地し、そこに道路を格子状に掘り込んで計画的に麓が作られました。出水麓では、武家住宅や玉石を利用した石垣による整然とした区画はもちろん、周辺より一段高い立地や道路と屋敷との高低差など、地形に着目すると、麓訪問がより味わい深いものとなります。武家屋敷「税所邸」と「竹添邸」は、屋内見学もできます。



まずはココへ 出水市麓町10-39 9:00~17:00(入館は16:30まで) 高校生以上:510円 小中学生:300円 出水麓歴史館 0996-68-1390 毎月第3水曜日(祝日の場合は翌日)

垂水市

## 市街地に溶け込む島津一門家の麓



# 垂水麓



- 垂水市立図書館 無料
垂水市立図書館
垂水市立図書館



垂水麓は日本遺産の11の麓の中で唯一、島津一門家(垂水島津家)による格式の高い麓で、現在垂水小学校となっている林之城跡を中心に、広大な範囲で整然とした格子状の区画が広がっています。麓の場所がそのまま市街地として発展しているため、一見そこが麓であることがわかりにくくなっていますが、赤い凝灰岩で作られた石垣による整然とした区画が、当時の広大な麓を物語っています。



まずはココへ 垂水市南松原町38番地 0994-32-7111 9:30~18:00 毎週月曜日(祝日の場合、翌日) 垂水市立図書館

日本遺産 薩摩の武士が生きた町 ~ 武家屋敷群「麓」を歩く ~ マップ

### 各麓近くの主要拠点からのアクセス

※詳しいアクセスについては、各麓ページの問い合わせ先までお問い合わせください。

- 鹿児島城跡 JR鹿児島中央駅から 国道10号経由 車で約10分
入来麓 JR川内駅から 県道42号経由 車で約25分
串木野麓 JR串木野駅から 県道39号経由 車で約5分
喜入旧麓 JR喜入駅から 南方神社方面へ 車で約5分
知覧麓 南九州市役所から 県道232号経由 徒歩で約3分
加世田麓 南さつま市役所から 国道270号経由 車で約5分
浦生麓 川内港から 高瀬船で 上飯島・長浜港下船 徒歩で約10分
手打麓 川内港から 高瀬船で 下飯島・長浜港下船 徒歩で約30分
出水麓 JR出水駅から 県道373号経由 車で約6分
志布志麓 JR志布志駅から 県道499号経由 車で約10分

【問い合わせ先】

日本遺産「薩摩の武士が生きた町」魅力発信推進協議会事務局 (鹿児島県教育庁文化財課内) 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL.099-286-5357